



郭 哲維, TETSUI KAKU

ナノエレクトロニクス研究部門エマージングデバイスグループで技術支援や装置トレーニングを担当

担当装置：

- マスキレス露光装置
- ワイヤボンダー
- レーザー顕微鏡
- CADデータの作成

自己PR：

台湾北部の新竹市で育つ。中学からパソコンにはまり、友達の間で「パソコン修理屋の哲」と呼ばれる。半導体の研究に興味を持つようになり、大学在学中は半導体の材料およびプロセスを専攻。その後、早稲田大学大学院の交換留学生としてMEMSの技術や半導体LSIの応用について研究。卒業後、産総研先進製造プロセス研究部門ナノインプリント製造グループにて、ウェハ直接接合技術と表面活性化常温接合技術における電極ナノインプリントの研究に携わる。2010年よりNPFに所属。現在NPFに所属して5年目。
冬は母国でできないスノーボードに夢中。

2014年夏、日本語能力試験1級に合格しました！

証拠

